

越田会長記者会見要旨

日 時：平成16年10月19日（火）午後3時30分～午後4時

場 所：フロンティア21記者会見場

出席者：越田会長、高橋副会長、渡辺専務

高橋副会長から自主規制会議の審議事項の概要について、渡辺専務から証券戦略会議の審議事項の概要について、説明が行われた後、大要次のとおり質疑応答が行われた。

（記者）

西武鉄道が大株主の状況を非常に少なく有価証券報告書に記載するという問題が出てきたが、これについて3つお伺いしたい。1つ目は、こうした問題自体を会長がどのように受け止められているか、2つ目は、一部には主幹事証券の責任論という指摘が出ているが、この指摘についてどのようにお考えか、3つ目は、日証協として今回の問題に対して、何らかの取組みをされるのかどうか、以上3点伺いたい。

（越田会長）

一言で言えば、残念なことである。マーケットに関しては公正な価格が形成されるというのは非常に重要な条件であり、また投資家にとっては、適時適切な会社内容の開示というのが重要であり、そういう意味から今回の件は発行会社としては、内部管理体制を含めて問題点があったのではないかと思う。

幹事証券会社については、西武鉄道は1949年に上場し、それ以来ファイナンスがないということであるから、幹事証券会社の責任論については、途中でチェックする期間がないということから難しいのではないかと思う。

日証協の対応については、今の時点では、何ら具体的な対策を打つ段階ではないと考えている。

(記者)

税制改正について、政府税調が金融所得の課税一元化を打ち出し、金融庁も来年度の税制改正要望にそういう項目を入れているが、納税者背番号制に基づいて金融所得を一元課税するという基本的な考えについて、証券業界としてどう考えるか。

(越田会長)

証券業界としてのコンセンサスがとれていることは、金融所得の一元化ということに関しては条件付で前向きだということである。その条件とは、預金を含めて同時期にスタートするということであり、そして納番制に関しては、特に証券業界が先行することがないようにということをその条件としてお願いしている。

(記者)

ジャスダックの取引所化のスケジュール等もみえてきたが、ジャスダック自体はジャスダック自身が考えていくことだろうが、マザーズとの間で新規上場企業数の熾烈な競争が起こっていて、ジャスダック劣勢という状況にも足元のところではあるわけだが、ジャスダックがどのような市場になっていくことを期待するか。

(越田会長)

ご存知の通り、取引所となると、様々な制度的制約が解除されるわけである。例えば、成行注文や立会い外分売、重複上場、先物・オプション取引等が可能になるので、投資家や発行体のニーズに今まで以上に応えられると思っている。また、証券取引所になると、ステイタスを確保でき、市場間の競争も促進されるので、今まで以上にサービスの提供が図られるのではないかとと思っている。いずれにしても、発行体にとっては円滑な資金調達が可能になり、流通段階においては、公正な価格が形成されるということを通じて、市場仲介者や投資者、発行体が期待する役割を果たすようなマーケットになってほしいと思っている。

る。やはり、新興市場の中では、アメリカの NASDAQ のような形になればと思っている。

（記者）

先ほど代表質問にもあった西武鉄道の件だが、協会としては今の時点では、具体的な対策を打つ考えはないとのことだったが、将来的には何らかの対応を考えているのかどうか。

（越田会長）

現段階では、協会はジャスダック市場を㈱ジャスダックに委託しているので、ジャスダック市場においては、西武鉄道と同じようなことが起きないようにすることは注視しなくてはいけないと思っている。しかし、西武鉄道に関しては、事の成り行きについて、マスコミ報道でしか分からず、協会としてコメントする段階には至っていないと考えている。

（記者）

西武鉄道の件で、有価証券報告書の虚偽記載を見逃すというミスのあった金融庁、関東財務局、東京証券取引所に対して、どう思うか。

（越田会長）

虚偽記載とはっきり言われるが、報道される内容を肯定してコメントすることは差し控えたい。まだ報道されてから、時間が経っておらず、状況が分からないというのが現状であり、全ての面で分からない段階でコメントすることは差し控えたい。

（記者）

分からないという点に関して、協会として積極的に解明しないのか。

（越田会長）

ジャスダックの銘柄であれば、協会として重要な責任があり、解明が必要で

あるが、東京証券取引所上場銘柄であるので、その点は区別して考える必要があると考えている。

（記者）

東証銘柄であれば、協会としては関係ないということか。

（越田会長）

東証上場銘柄については、いろいろなチェックその他は東証が行うので、協会では、ジャスダック銘柄に関しては関係が深いですが、東証銘柄のチェックについては、何とも申しあげられない。

（記者）

自主規制機関として、業界団体としては、個人投資家を裏切る行為があったことに関してどう考えるか。

（越田会長）

事実関係がもっと明らかになり、投資家の観点、業者の関係等で進展して具体的な問題が出てきた場合には、協会も対応策が必要となってくる。しかし、現段階では何とも申しあげられない。

（記者）

問題があったかどうかということ、協会として、明らかにするために対策はしないのか。

（越田会長）

東証上場銘柄に関して上場基準その他の問題で、問題があるということなので、協会がそこに関与する段階ではないと思う。

（記者）

今回の証券戦略会議の議題に、個人投資家について考えるというなかで、

個人投資家を裏切るようなことがあったらこんなことはできないはずであり、協会として調べるというスタンスがあっても不思議はないのではないか。

（越田会長）

今の段階で、協会としては、調べる手段がない。

（記者）

企業にヒアリングなどはしないのか。

（越田会長）

企業にヒアリングする権限は、現在の段階では協会にはないと思う。

（記者）

西武鉄道の件で、個別の企業は別として、ジャスダックにおいて同じようなことが現状でないか、今後同じようなことが起こらないかといった意味で、再点検や予防措置について考えているか。

（越田会長）

ジャスダックは公開している会社と定期的にミーティングをもって、定期的なチェックを行っているので、今の段階で特に再チェックを行うということは聞いていない。

以 上